

子宮頸部上皮内腫瘍および微小浸潤癌に対して施行した子宮全摘出術症例の臨床的検討

1. 研究の対象

2011 年 4 月～2019 年 5 月に CIN、AIS、子宮頸癌 I A1 期の診断で子宮摘出術を受けられた方。

2. 研究目的・方法

目的：当院で子宮頸部上皮内腫瘍および微小浸潤癌に対し子宮全摘出術を施行した方について、残存再発例を中心に臨床的検討を行います。

方法：上記に当てはまる方の診療録から残存再発のリスクとなる因子について後方視的に検討します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、術式、術前円錐切除術の有無、摘出子宮標本の病理所見 等

試料：なし

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪国際がんセンター 婦人科 久 毅（研究責任者）、上浦祥司

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

-----以上